

平成29年12月14日(木)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。気仙沼市の松岩漁港海岸、千岩田海岸、杉の下海岸、南三陸町の波伝谷漁港海岸などは、天然記念物のコクガン（宮城県RDB：VU（絶滅危惧Ⅱ類））の越冬地となっており、海岸や漁港の復旧工事における配慮事項について、宮城県環境アドバイザーの竹丸先生・小室先生（日本野鳥の会）に説明・報告し、意見をいただきました。



**千岩田海岸（気仙沼市）**



**波伝谷漁港海岸（南三陸町）**

### アドバイザーからの主な意見

1. コクガンは早朝に飲水や休憩のため上陸するので、飛来状況を確認し、工事開始時間調整等の配慮をお願いする。
2. 旧堤防の瓦礫にアオサ等が付着し、コクガンの良い採食地となっているため、できる範囲で残せるように検討していただきたい。
3. コクガンが飲水場として利用しているため、各現場で行っている濁水対策の他、真水の流れ込み箇所への配慮をお願いする。



**杉の下海岸（気仙沼市）**

写真提供：小室智幸氏（環境アドバイザー）

### コクガン（カモ目カモ科）

カルガモと同じくらいの大きさ（約60cm）で全体的に色が黒く、首に白い輪があるのが特徴。

堤防や養殖施設に付着している海藻類を食し、河川の流れ込みで飲水し、砂浜に上陸し休息している。

気仙沼湾から牡鹿半島にかけての沿岸海域と仙台湾はコクガンの集団越冬地南限となっている。

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。